

株式会社ジェイコムウエスト  
第七回（平成 29 年 11 月度） 放送番組審議会 議事概要

第七回の放送番組審議会は、平成 29 年 11 月 17 日（金）、株式会社ジェイコムウエスト本社において、4 名の委員が出席して開かれた。

会議では、会長の進行のもと、『デイリーニュース和歌山』（10 月 23 日放送分） / 『台風情報生放送』（8 月 7 日付）を視聴し、番組に関する審議を行った。

■ 出席委員

会 長	梶原 義秀	（門真地区保護司会 理事）
副会長	平井 宏	（箕面自由学園 理事長）
委 員	川村 輝夫	（いけだ市民文化振興財団 理事）
	木村 惇	（大阪経済法科大学 名誉教授）

■ 審議番組

『デイリーニュース和歌山』（10 月 23 日放送分）  
『台風情報生放送』（8 月 7 日付）

■ 主な発言

- ・ 災害情報を L 字情報として出すのは休みの日に出てきて対応しているのか。大変だと思ふ。
- レスキューナウという防災情報などのデータ配信を専門に行っている会社と提携して対応している。
  
- ・ 台風の際に非常に雨が降っていて、近所の川を見に行ったところ、行政などが出している情報と違って水位が非常に高かった。実際の情報を知りたい。
  
- ・ 中継車のことを知りたい。
- お祭りとかスポーツの中継とかをメインに活用している。  
生中継もあれば現地で編集して巻き取りの録画放送もある。  
地上波と違ってコンパクトな仕様の中継車である。
  
- ・ 例年来ていた近所（門真）の祭り（だんじり）の取材がなかったように思う。  
雨だったからだろうか。
  
- ・ 台風情報の生放送のほうがデイリーニュースより印象に残った。

- ・台風などの時は新しい情報が知りたい。
- ・かんだりした方が生放送らしい。緊迫感がある。
- ・プロのアナウンサーが淡々としゃべると緊迫感がない。
- ・中継車でどのぐらい電源車なしで放送できるのか？  
→ガソリンを満タンにしてアイドリング状態で8~10時間は持つが、いざということを見ると電源車は必要。
- ・中継車にカメラは何台つなげられるのか？  
→最大で6台。
- ・カメラは中継車に常時積んでいるのか？  
→普段はスタジオに置いており、積み替えている。
- ・デイリーニュースについて、民事調停のやり方は取り上げていないのか？  
→民事調停を裁判所で体験しようというイベントを取り上げたニュースであったので、そこまではしていない。
- ・法テラス/地方自治体の相談窓口などコンパクトにまとめて紹介した方がよかった。
- ・ケーブルテレビはコンパクトに機敏に動けるといった話があったが、自治体単位から自治会単位レベルまでの情報になるとよい。
- ・インバウンドで外国人観光客がホテル/民泊/バックパックと増えているが、防災関連情報をスマホで流すなど外国人向けにできることはないか。
- ・中継車にWiFiみたいな装置はあるか。  
→ない。
- ・情報を流すことを中継車でやろうと思えばできるのか。  
→確認はしていないが、難しいと思う。

・ デイリーニュースはどこかのニュースを持ってきて流しているのか？ 独自で作っているのか？

→ 独自で取材して放送している。7 制作拠点あり 12 エリアで放送している。  
宝塚であれば宝塚川西として放送している。

・ デイリーニュースのアナウンサーはプロか？

→ プロの方である。

・ それぞれ別のアナウンサーが担当しているのか？

→ 制作拠点が同じデイリーニュースはその日 1 日同じ人が担当している。

例えば堺/りんくう/和歌山 3 エリアは放送時間が別で同じ人が担当している。

・ ニュースはプロの方が聞きやすい。

・ 台風情報生放送はエリアごとだったのか？

→ 関西全域で同じものを流した。L 字の情報はエリアごとの情報である。

・ ニュースを読むスタッフはいないのか？

→ その時々をの情報を緊急で流すことを想定しているの、普段は制作を担当しているスタッフが対応した。

・ 正確性が求められるので、アナウンサーの業務もしている人が良いと思う。

→ 地域アナウンサーと呼ばれるアナウンサー予備軍を育てていこうとしている。

関西エリアではまだ 1 名だが、3 名に増員する予定となっている。

・ ジェイコムウエストの決算数値はよいが、中継車が一台しかないとかアナウンサー予備軍をこれからとかそういうことにお金をかけてほしい。必要経費だと思う。

→ 議事録に残したうえで会社として考えていきたい。

以上、これらの発言いただいたご意見を、現場の制作スタッフや関係者にフィードバックし、今後の制作に役立てることを事務局よりお伝えし、番組審議会を終了した。

以上